

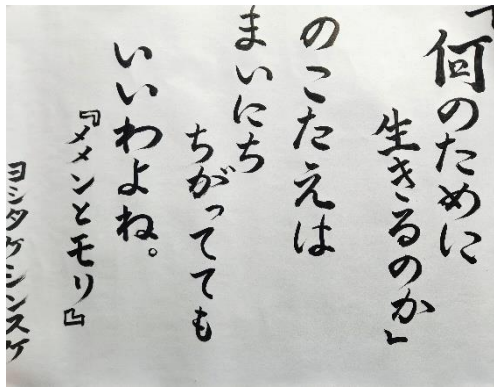
慶念寺々報

つなぐがけ

慶念寺の掲示板 第二十四回

「分かち合いたいのか 自慢したいのか」

今月は、ヨシ



タケシンスケさんの『メメンとモリ』という本のセリフから引用いたしました。是非、この本は手に多く方に手に取っていただきたい本です。

のちの目的地はどこですか？」と聞かれたならば、迷いなく「阿弥陀様のお浄土に生まれて仏様となることです」と答えます。私のいのちの行き先は、間違いの無い阿弥陀様のお救いの中にあります。



しかし、今を生きる私たちは「仏様になるために生きていますか？」と聞かれると、それだけではないのが現実ではないでしょうか。阿弥陀様も、仏様になるために生きることのできない私達だからこそ、先回りしてそのお

はたらきで包んでくださっているんです。阿弥陀様がしっかりと目的地を定めてくださっているからこそ、本当の意味で「何のために生きるのか」を考えていくことが出来ます。しかし、これが



一人のヒトとして、職場や学校などの社会環境の中で、家族や親しい方との人間関係の中で、生きていくうえで「何のために生きるのか」この問いに、一つの答えを出すことは容易ではありません。私にはできません。でも、その時によっていくつも答えが用意できるのであれば、沢山の答えが出せるのではないのでしょうか。

私の場合。一人の人間としては、多くの方とよいつながりをもつために、僧侶としては、沢山の方と「慶念寺」という皆様がホッと一息つける環境を作り上げていくために。家族の中の一人としては、子ども達を大切に育てていくために生きている。そう思っています。

「何のために生きるのか」それは、「あちらを立てればこちらが立たない」そんな問いではないと『メメンとモリ』で気づかせてもらいました。

人間の心というものは移ろい変わり続けるものです。その私がどうしてたった一つだけ「何のために生きるのか」を決めることが出来るのでしょうか。いいんです。うつろって。うつろってうつろって、生ききった先には阿

弥陀如来の浄土がある。

迷ったままの人生かもしれませぬ。でり、その迷いを引き受けてくださるはたらきがあるんです。だから、安心して迷える。肩の力を抜いて、生きていくことが出来るんです。

阿弥陀様がいてくださってよかった「何のために生きるのか」が毎日違ってもいいんです。あらためてそう味わわせていただきました。

長崎に行ってきました！

開所当時から現在に至るまで、慶念寺の本堂にご安置されている御本尊は、長崎県雲仙市にある光西寺さまより、お譲りいただいた御本尊です。



開所準備中に「大きな御本尊をおむかえしたい」という住職の思いがあり、探していたところ、義兄より光西

寺さまをご紹介いただきました。この度は、慶念寺の宗教法人化の報告と、御本尊の変更について、そして、光西寺さまからお迎えした御本尊を今後どのように安置する予定なのかをお話してまいりました。子どもたちは、初めての光西寺さま。元気に走り回っておりまして。

光西寺さまがいなければ、慶念寺はありません。大きな恩に、よい報告が出来て本当によかったです。



